

優秀賞

大企業区分

株式会社ノーリツ

※事業者の情報は応募時点(2018年)

所在地	兵庫県神戸市中央区江戸町 93 番地
業種	製造業
社員数	2,796 名(単体)、8,815 名(連結)
受賞歴	2014 優秀賞
ウェブサイト	http://www.noritz.co.jp/

新しい幸せを、わかすこと。

取組の目的

- ・ ノーリツの事業ミッションである「人と地球の笑顔に向けて暮しの感動をお届けする」為にSDGsを軸にした人材育成に取り組んでいます。
 - ①-1 【社内活動】SDGs 社内浸透活動<ターゲット 4>
 - ①-2 【社内活動】eco 検定を取得し、環境の基本知識を身につける<ターゲット 4>
 - ② 【社内活動】eco 検定取得者中心にリーダーシップを発揮し、環境活動で職場をわかす<ターゲット 4、8、13>
 - ③ 【社外活動】社会貢献を通じて生物多様性等様々な環境問題改善に取り組む<ターゲット 2、4、14、15>
 - ④-1 【社外活動】異分野・異業種等、社外を巻き込み環境問題を広く伝える<ターゲット 4、12>
 - ④-2 【社外活動】障がい者自立支援を通して働きがい<ターゲット 3、8、12、17>

取組の実績

①-1 SDGs の社内浸透活動

- ・ 職場懇談会にて統合レポートの読み合わせ
- ・ SDGs 研修(部門長、新入社員研修)
- ・ オリジナル SDGs バッジの配付

①-2 従業員の eco 検定取得を推奨

- ・ 社内推奨資格として受験料全額補助
- ・ NR オリジナルテキスト&環境用語集作成

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

- ・ 社内講師による勉強会実施
- ・ 一日三問メール発信

② eco 検定取得者による切電(セツデン)プロジェクト

- ・ eco検定取得者がリーダーシップを発揮し、自発的に切電(セツデン)活動を実施
- ・ 従来の節電ではなく「電気を使わない切電の発想」で様々な改善を実施

③ 地域と連携したボランティア活動

- ・ 琵琶湖外来魚駆除釣りボランティア: 外来種問題や生物多様性保全の教育
- ・ COCO 壱番屋さんとコラボした鹿肉カレー: 獣害問題の教育
- ・ 従業員手作り紙芝居: 食物連鎖の教育
- ・ 明石クリーンウォーク: 明石大蔵海岸のゴミ拾いをしながら海洋性プラスチック問題の教育



第10回ノーリツクリーンウォーク

- ・ 里山体験: 森林育成、間伐材利用促進の教育
- ・ フードドライブ活動: 各事業所でフードドライブ開催、フードバンク関西へ寄付

④-1 社内で培ったノウハウを社外で共有

- ・ エコファースト企業様へのeco検定出張研修
- ・ eco検定受験対策セミナー講師として大学生を育成
- ・ 一般者向け勉強会実施: 他企業と協業
- ・ SDGs 講演会参画: 「SDGs 時代のビジネス」にて社会的責任と調達の活動事例を発表

④-2 本業で他企業とコラボ

- ・ 積水ハウスで回収した使用済み給湯器をノーリツが引き取り、分解・分別し、資源をリサイクルしている
- ・ 分別・分解作業を福祉施設に業務委託し、障がい者の自立支援活動に繋がっている

成果・課題

① -1 SDGs の社内浸透活動

- ・ 研修受講者(部門長研修、新人研修 計 600 名以上)

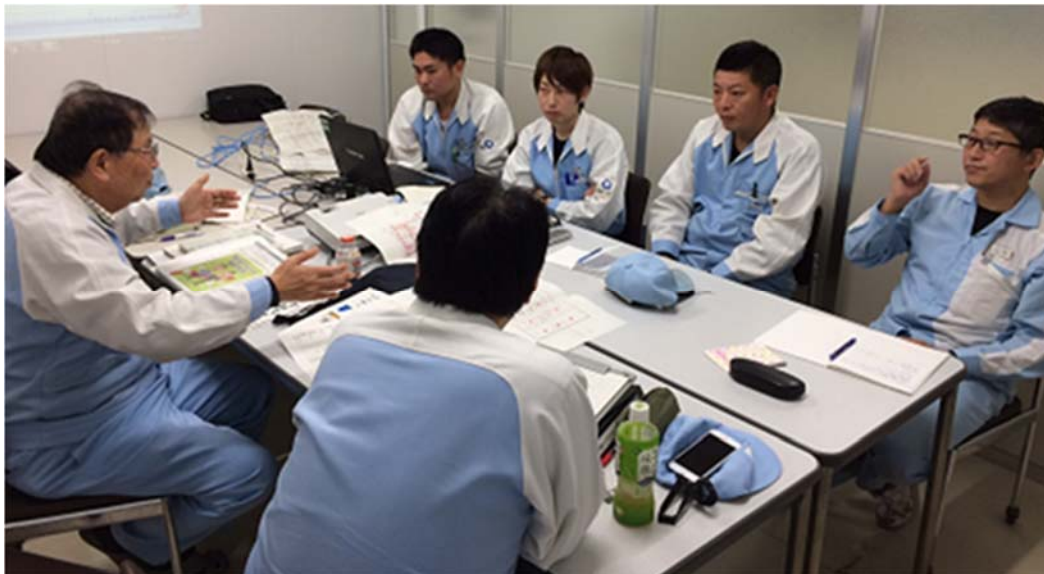
- ・ 職場懇談会での意見交換

①-2 従業員の eco 検定取得を推奨

- ・ 取得従業員数 2,075 名(国内ノーリツグループ従業員数 3,372 名)、取得率 61.4%

② eco 検定取得者による切電(セツデン)プロジェクト

- ・ 一事業所でのコストダウン効果約 300 万/年間
- ・ 例)リフロー炉の冷却設備を冷房→エア搬送ファンに変更(“冷やす”から“散らす”への発想転換)設備立ち上げの時間帯見直し



切電プロジェクトにおける会議の様子

③ 地域と連携したボランティア活動

- ・ 例)琵琶湖外来魚駆除釣りボランティア:42 名参加、琵琶湖のブラックバス釣りで外来種が増えるかどうかを学習、滋賀県知事より感謝文贈呈



琵琶湖外来魚駆除釣りボランティア

- ・ 例)COCO 壱番屋さんとコラボした鹿肉カレー:「わたし達が食べている物は全て命。大切な命

に感謝して、食べ残さないようにしましょう！」を学習

④-1 社内で培ったノウハウを社外で共有

- ・ 例) 他業様への eco 検定研修、ノウハウ伝授: スーパーホテル、上島珈琲貿易 計 55 名合格
- ・ 例) 大学生講師の育成: 3 大学 5 名育成

④-2 本業で他企業とコラボ

- ・ 積水ハウスとのコラボレーションで使用済み給湯器リサイクルの実績 約 1500 台/年
- ・ 全国 17 福祉施設に業務委託

今後の改善

- ・ SDGs (CSR) を事業と結びつけ、全社員で取り組んでいく
- ・ eco 検定取得者による切電プロジェクト活動を横展開し、従業員が環境問題を「自分事」として捉えるように育成していく
- ・ 省エネ商品 (ノーリツは業界唯一ノンフロンハイブリッド給湯器を販売中) を広く提案できるように従業員の知識や技量を向上していく
- ・ ファシリティ部門 (施設・設備管理) と連携して、より専門性の高い環境改善活動に取り組む
- ・ 引き続きボランティア活動を実施し、環境を考える場を社会に提供し続ける
- ・ 障がい者がより働きがいを感じられる自立支援を続ける

関連・補足情報

1. alterna 社による eco 検定アワード 2018 大賞受賞紹介

<http://www.alterna.co.jp/25291>

2. 環境省クールチョイス取り組み事例紹介

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/challenge/advanced/11.html>

審査委員会からの講評

事業ミッション「人と地球の笑顔に向けて暮らしの感動をお届けする」を達成するため、SDGs の社内浸透を職場懇親会、部門長研修、新入社員研修と階層別に幅広く教育をしている。

eco 検定の取得者は、ノーリツグループ従業員全体で 2,075 人 (61.4%) にのぼる。eco 検定の取得者は eco 検定の社内普及、社外普及 (一般企業、大学) を行うとともに、社内の切電プロジェクトに主体的に取り組むなど、役割を明確にし、コストダウンにも貢献している。環境教育からその知識を生かした活用へと動いていることは大いに評価される。eco 検定の取得を営業活動に活かすとあり、成果につながることを期待したい。

地域と連携したボランティア活動も活発であり、琵琶湖外来魚駆除釣り、COCO 舌番屋と連携し鹿肉カレーにより生態系への理解を深めている。

会社として組織的に環境教育に取り組み、業務に活かしていることは大いに評価される。